

平成25年3月期 決算説明会

平成25年 5月14日

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>

目次



平成25年3月期 実績



新中期経営計画



平成26年3月期 見通し

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知ください。

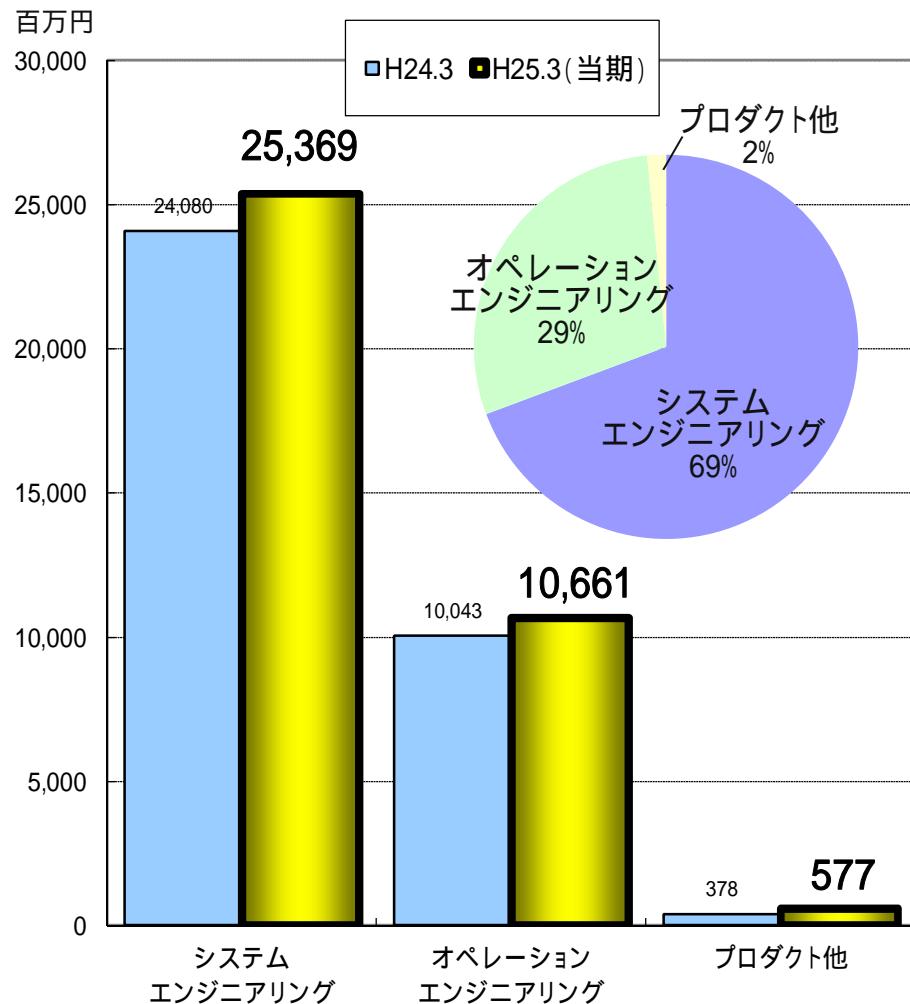
平成25年3月期 実績

単体・業績実績(平成25年3月期)

(単位：百万円、%)	金額	売上比	前期比		当初予想比	
売上高	36,607	-	106.1%	+ 2,105	99.2%	292
売上総利益	6,105	16.7%	106.6%	+377	102.6%	+155
販管費	2,977	8.2%	98.6%	-43	93.0%	-222
営業利益	3,127	8.5%	115.5%	+420	113.7%	+377
経常利益	3,281	9.0%	113.9%	+399	113.2%	+381
当期純利益	2,040	5.6%	127.9%	+444	123.7%	+390

単体・売上高・品目別 (平成25年3月期)

金融システム開発案件や建設不動産の新規運用案件などの受注により、システム・オペレーションとも好調



システムエンジニアリング (前期比 105.4%)

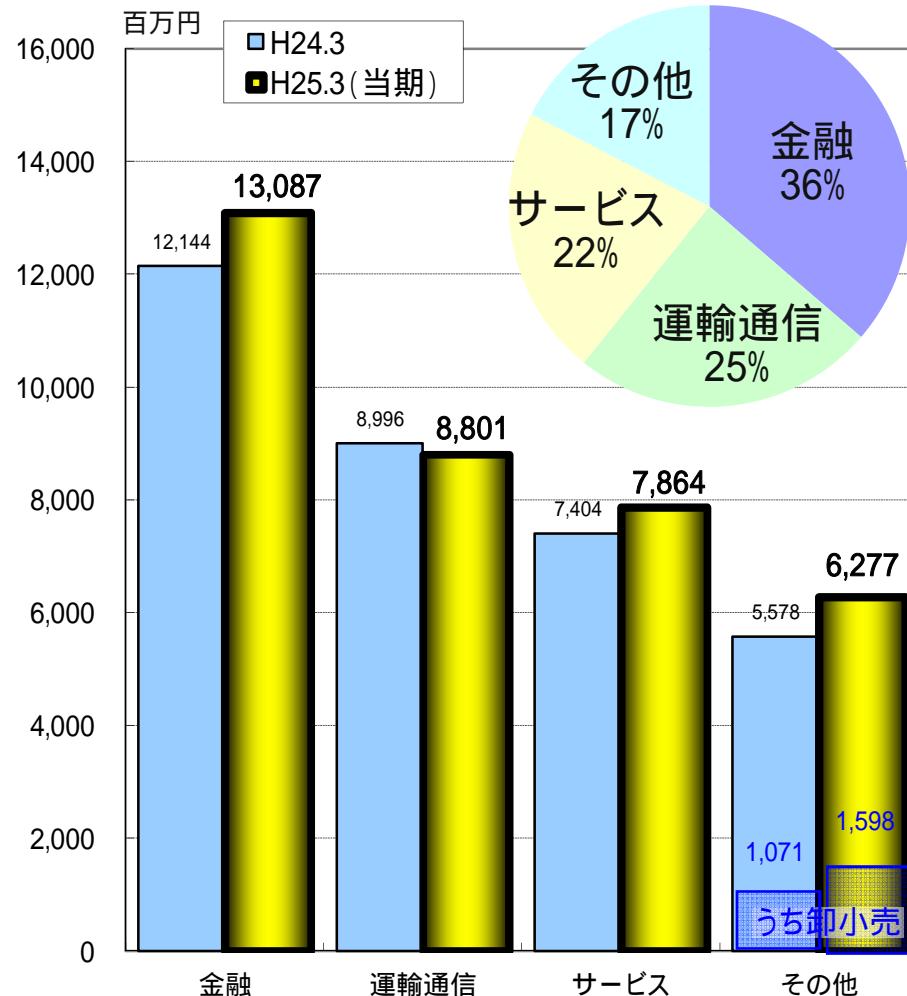
金融業では、証券会社のAMO案件やインフラ構築、信託銀行の統合や基幹系システム更改等が好調に推移。通信業では、営業フロント系等で減少するもモバイル系が拡大し、増加

オペレーションエンジニアリング (前期比 106.1%)

一部運用案件が減少したものの、建設不動産会社からの新規案件や、サービス業既存顧客からの受注拡大により増加

単体・売上高・エンドユーザ業種別(平成25年3月期)

金融業は、証券や信託のシステム開発案件が好調
サービス業、その他(特に卸小売)も増加



金融業 (前期比 107.8%)
証券会社のAMO案件やインフラ構築、
信託の統合や基幹系システム更改等に
より増加。銀行も決済系案件の本格化等
により増加に転じる

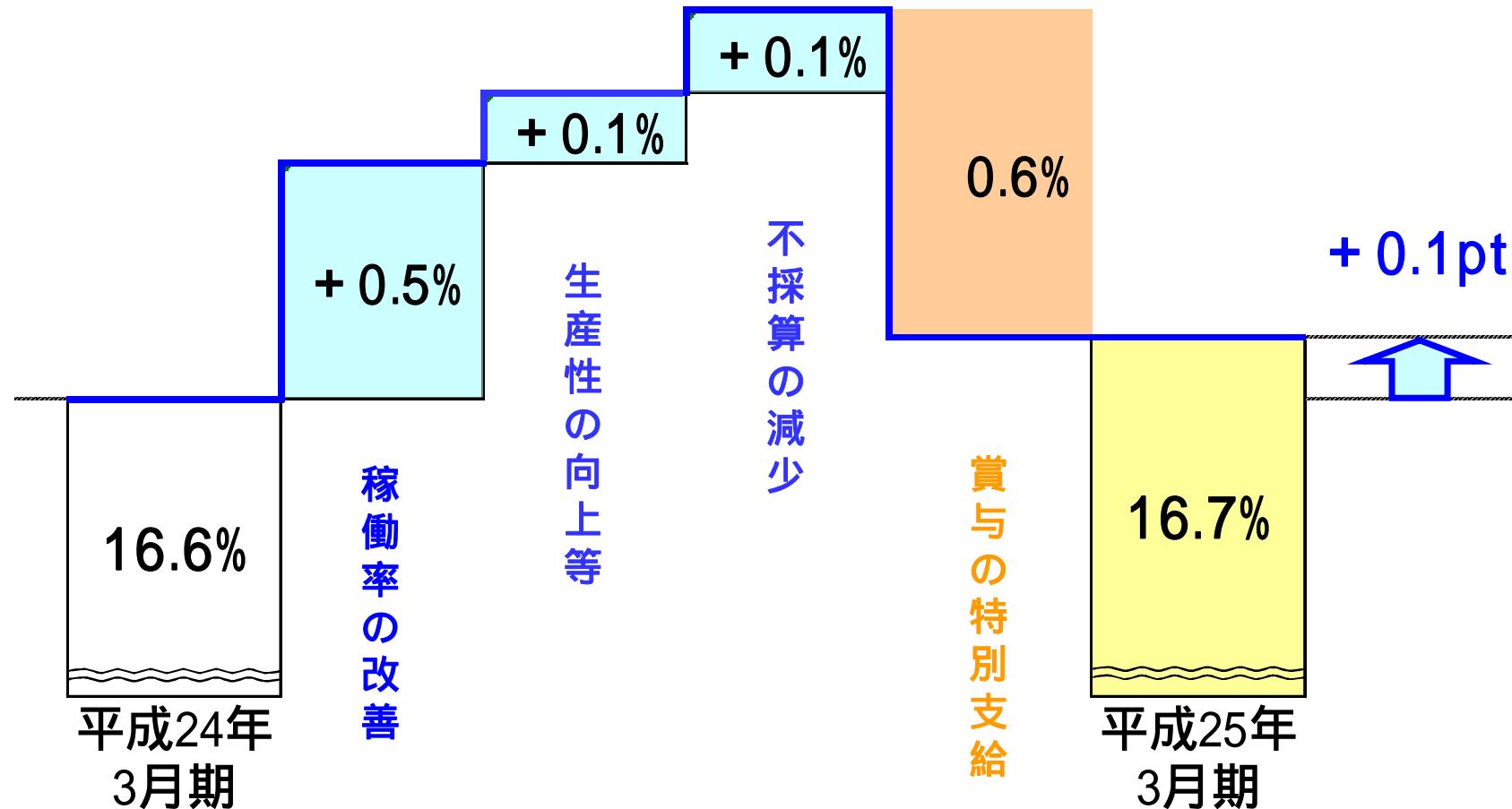
運輸通信業 (前期比 97.8%)
モバイル系やIDC事業者向けが増加
するも、通信の特定顧客の案件が減少
し、微減

サービス業 (前期比 106.2%)
広告など幅広い顧客で増加

その他 (前期比 112.5%)
卸小売は百貨店、専門店、コンビニで
増加。製造は特定顧客で減少。公共は
医薬が増加

単体・売上総利益(平成25年3月期)

稼働率の改善や生産性の向上等により利益率が向上
 全社員に賞与の特別支給を実施



単体・営業利益、経常利益(平成25年3月期)

継続的な経費削減の取り組みにより販管費は減少

販管費 2,977百万円 (前期比98.6%、売上比8.1% (前期比 - 0.6pt))

ビル利用スペース適正化等による費用削減
のれん償却の完了等 - 22百万円
- 21百万円

営業利益 3,127百万円 (前期比115.5%、売上比8.5% (前期比 + 0.7pt))

経常利益 3,281百万円 (前期比113.9%、売上比9.0% (前期比 + 0.6pt))

連結・業績実績(平成25年3月期)

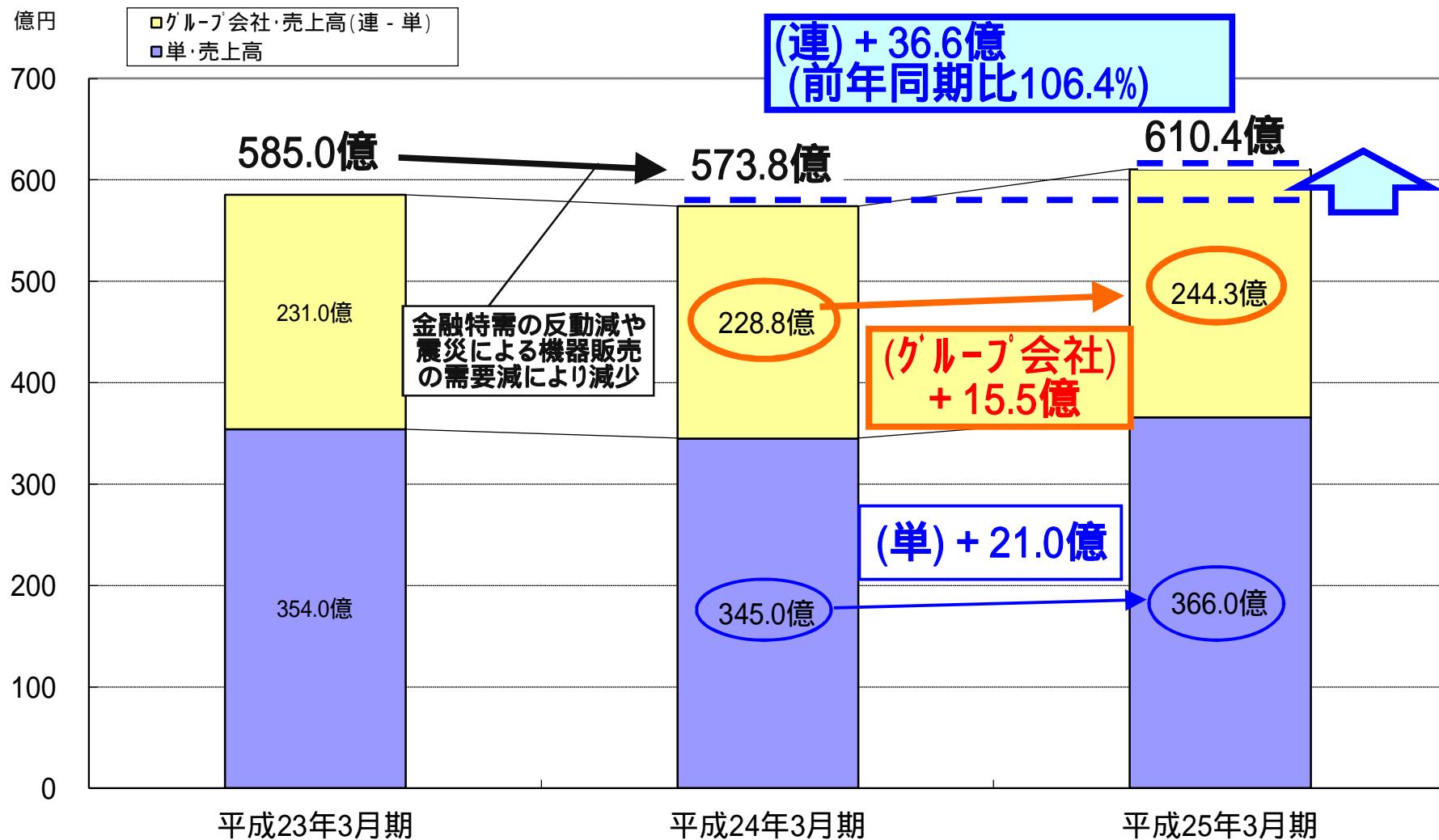
単体およびグループ各社の連携強化や
構造改革の推進により增收増益を達成

	金額	売上比	前期比		当初予想比	
売上高	61,039	-	106.4%	+ 3,654	100.1%	+ 39
売上総利益	9,360	15.3%	108.7%	+ 749	100.7%	+ 60
販管費	5,357	8.7%	95.0%	- 280	92.4%	- 442
営業利益	4,003	6.6%	134.6%	+1,029	114.4%	+ 503
経常利益	4,095	6.7%	133.4%	+1,025	115.4%	+ 545
当期純利益	2,177	3.6%	140.0%	+ 621	121.0%	+ 377

連結・売上高

(平成25年3月期)

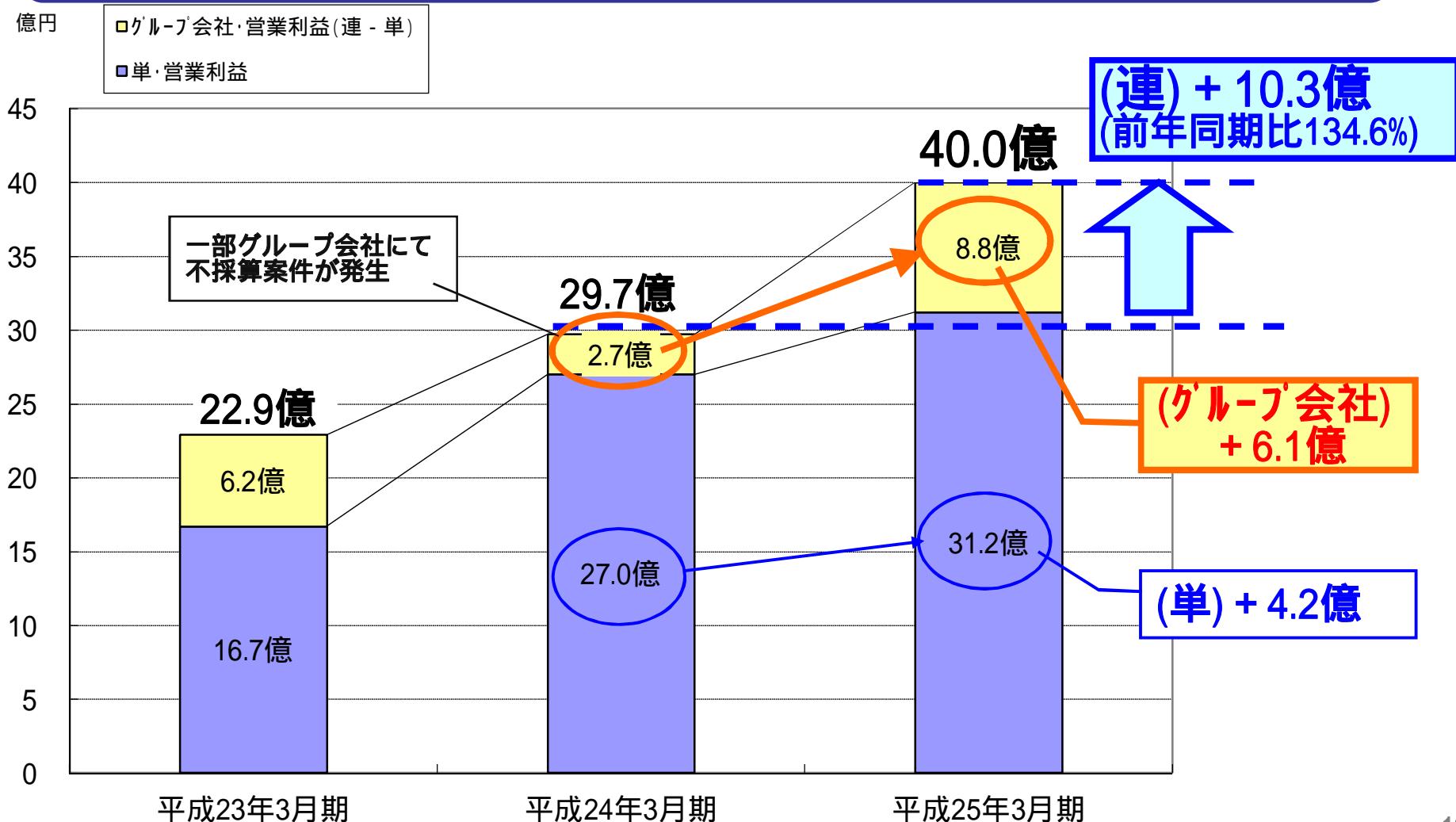
単体での增收に加え、グループ会社において生保システム開発案件やネット系企業への機器販売の拡大により売上が増加



連結・営業利益

(平成25年3月期)

採算管理の徹底や費用削減施策の推進により
グループ各社の利益が大幅に増加



グループ各社・業績実績(平成25年3月期)

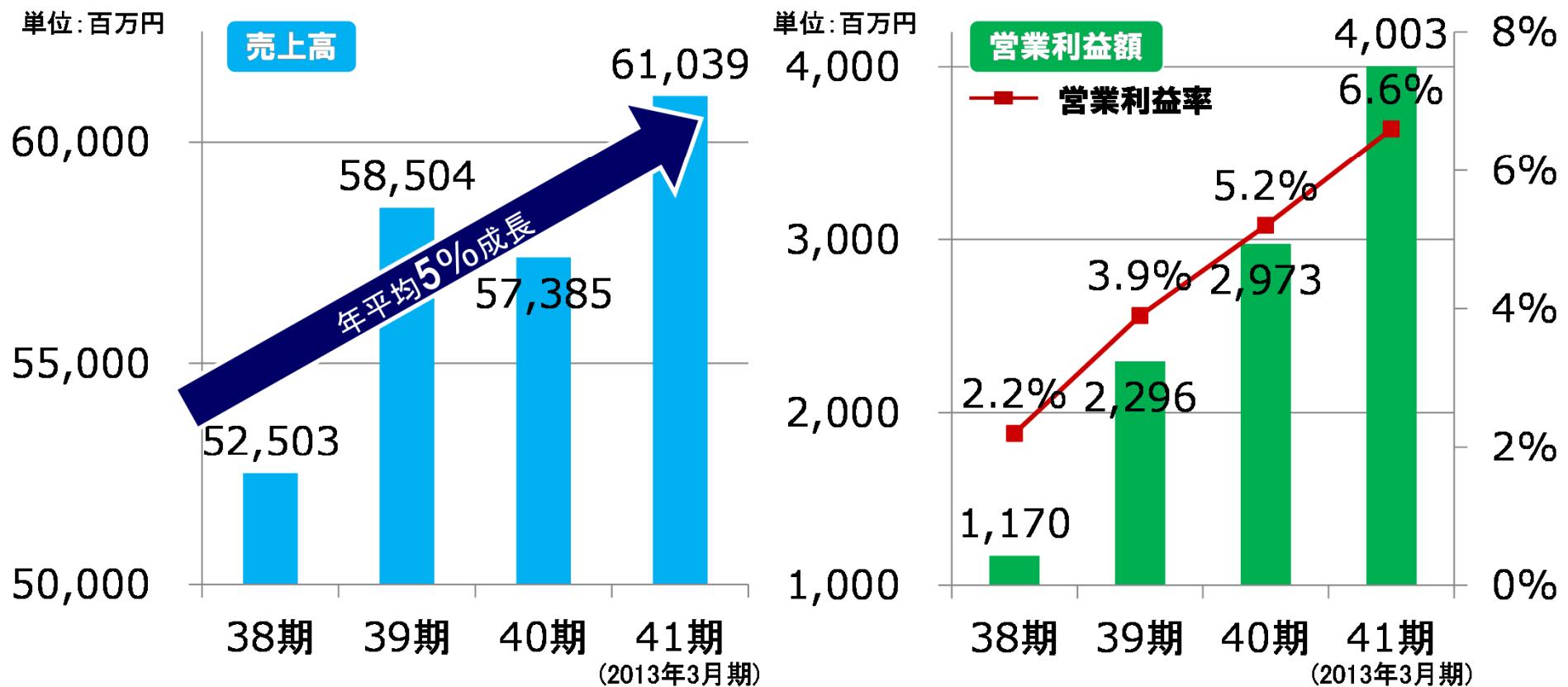
(単位 : 百万円、%)		売上高			営業利益		
社名	金額	前年 同期比	計画比	金額	営業 利益率	前年 同期比	計画比
データリンクス	7,727	96.9%	96.1%	228	3.0%	106.0%	102.4%
デジタルテクノロジー	6,950	123.9%	101.8%	55	0.8%	220.4%	55.4%
FAITEC	5,839	106.5%	104.2%	365	6.3%	354.1%	120.8%
日本SE	4,001	99.3%	95.9%	276	6.9%	165.4%	100.8%
九州DTS	1,261	94.4%	93.5%	61	4.9%	134.1%	90.1%
総合システムサービス	1,200	118.4%	100.7%	101	8.4%	[+ 212]	110.3%
MIRUCA	353	91.7%	97.2%	-7	-	[-11]	[-13]

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[]は、当期金額 - 前期金額

新中期経営計画

1. 前中期経営計画期間の振り返り



前中期経営計画期間(39期～41期)において、収益構造の改善を図り、売上・利益は着実に増大。



今後の成長拡大の為に、さらなる

トップライン拡大

グループ最適化

が必要

2. 当社を取り巻く事業環境



国内景気は底入れ

「公共投資 / 金融緩和 / 設備投資の中期循環」を受け、GDPは堅調な推移が見込まれる。



ITサービス市場成長鈍化

ITサービス市場は2013年以降、短期的には平均年2%成長が期待されるが、中長期的には成長は鈍化傾向が予想される。



従来型開発の市場縮小

従来型の受託開発は縮小傾向。モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャル技術へのシフトが進む。

3. 当社が目指すべき方向性

DTSグループならではの価値創造により、
お客様にとってかけがえのない存在となることを目指す。

事業環境変化に対応し
長期的な成長拡大を目指す

2022年3月期(50期)売上目標

新たな価値を創り出す

MADE BY DTS

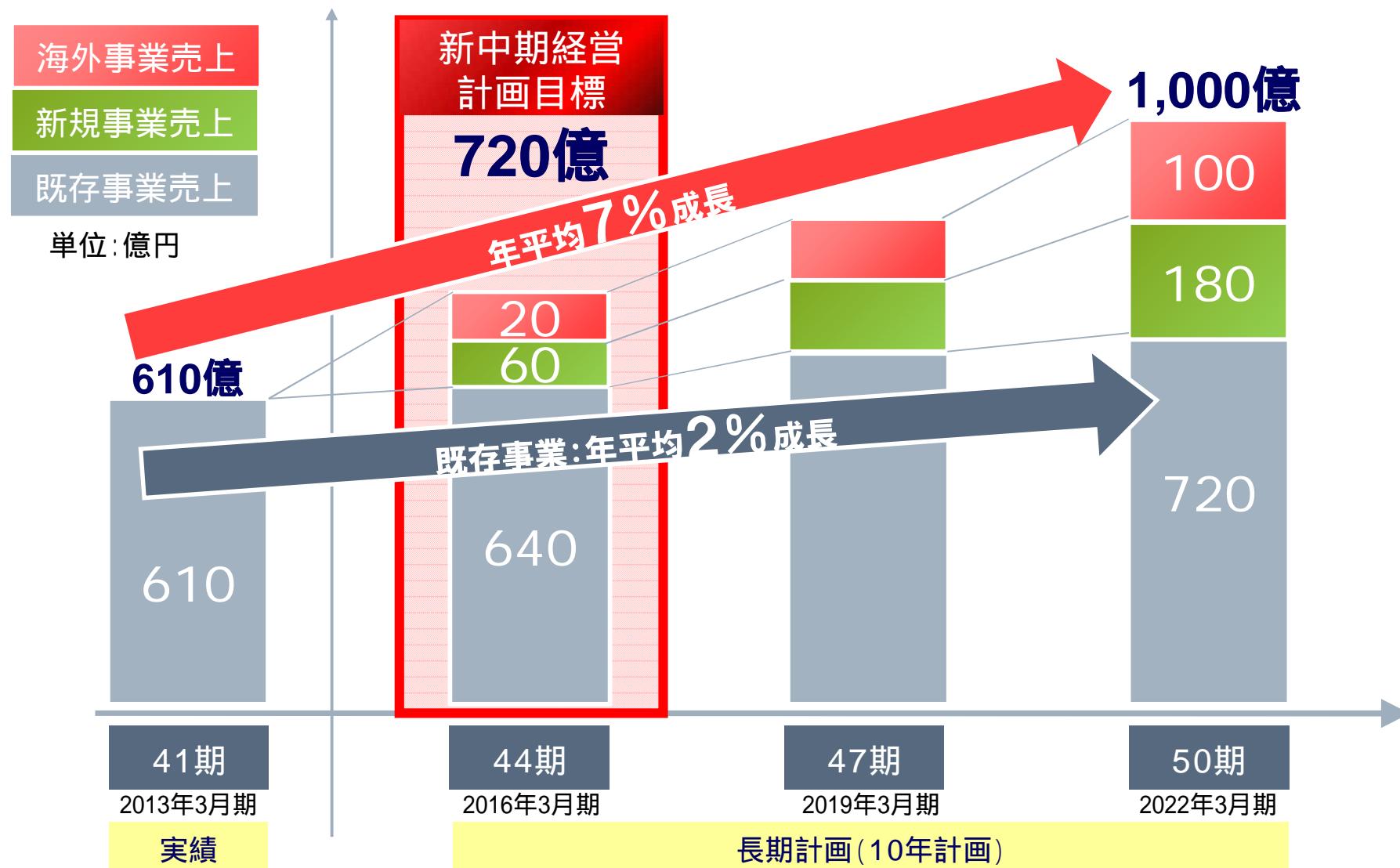
↑
営業利益率
10%

↑
海外事業売上
100億円

↑
連結売上
1000億円

4. 新中期経営計画の位置付け

50期1,000億という長期計画の、ファーストステップの3年計画



5. 新中期経営ビジョン/経営方針

お客様に最高の価値を提供する The Best Value Partner

DTSグループは、お客様の課題に共に向き合い、共に考え、共に行動し、
最高の価値を提供する「**ベスト バリュー パートナー**」を目指します。



5-① 提案力の強化

お客様に最高の価値(ベストバリュー)を提供できるよう、当社グループならではの提案力を強化する。

提案型営業スタイルへの行動改革

DTS流マーケティングプロセス形成

■営業ロールモデル人材の育成

- ・営業マネージャ研修の具体化
- ・ロールモデル人材育成

■CS調査(顧客クレーム調査)の改善

- ・調査対象拡大
- ・見える化によるアクション促進

■営業担当の責任明確化

- ・受注責任(数字)の明確化
- ・組織文化として定着

■部門間連携促進

- ・営業部門と事業部門の密接な連携を促進
- ・グループ営業連携会議の継続実施

5 - 事業基盤の強化

コア事業の拡大と、開発運用プロセス変革による生産性向上により、事業基盤をさらに強化する。

コア事業拡大

プロセス変革
開発運用

第三の柱の育成

- ・組み込み
(売上高倍増)
- ・PKGインテグレーション
(売上高30%UP)

ストック型ビジネスの拡大

- ・BPO/AMO
(売上高30%UP)
- ・サービス提供型事業

グローバルビジネス基盤の構築

- ・海外拠点/顧客の拡大(中国、アメリカ、東南アジア)
- ・海外受注の拡大

開発/運用生産性向上

- ・自動化/テンプレート化の推進

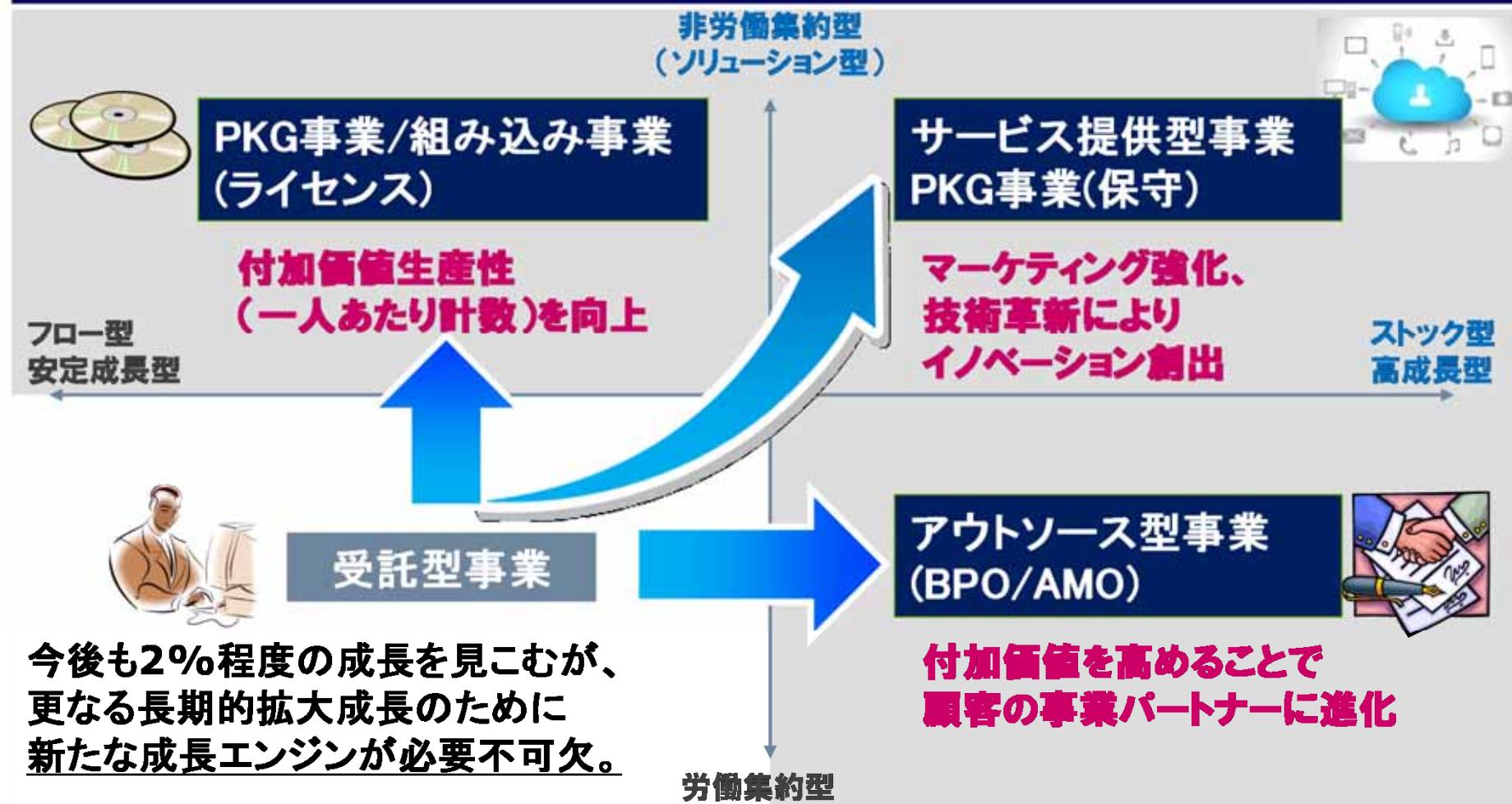
大型案件における確実な利益確保

- ・プロジェクトの見える化推進
- ・プロジェクトマネジメント強化

新中計 新規事業60億、海外事業20億達成

5-③ ビジネスモデルの変革

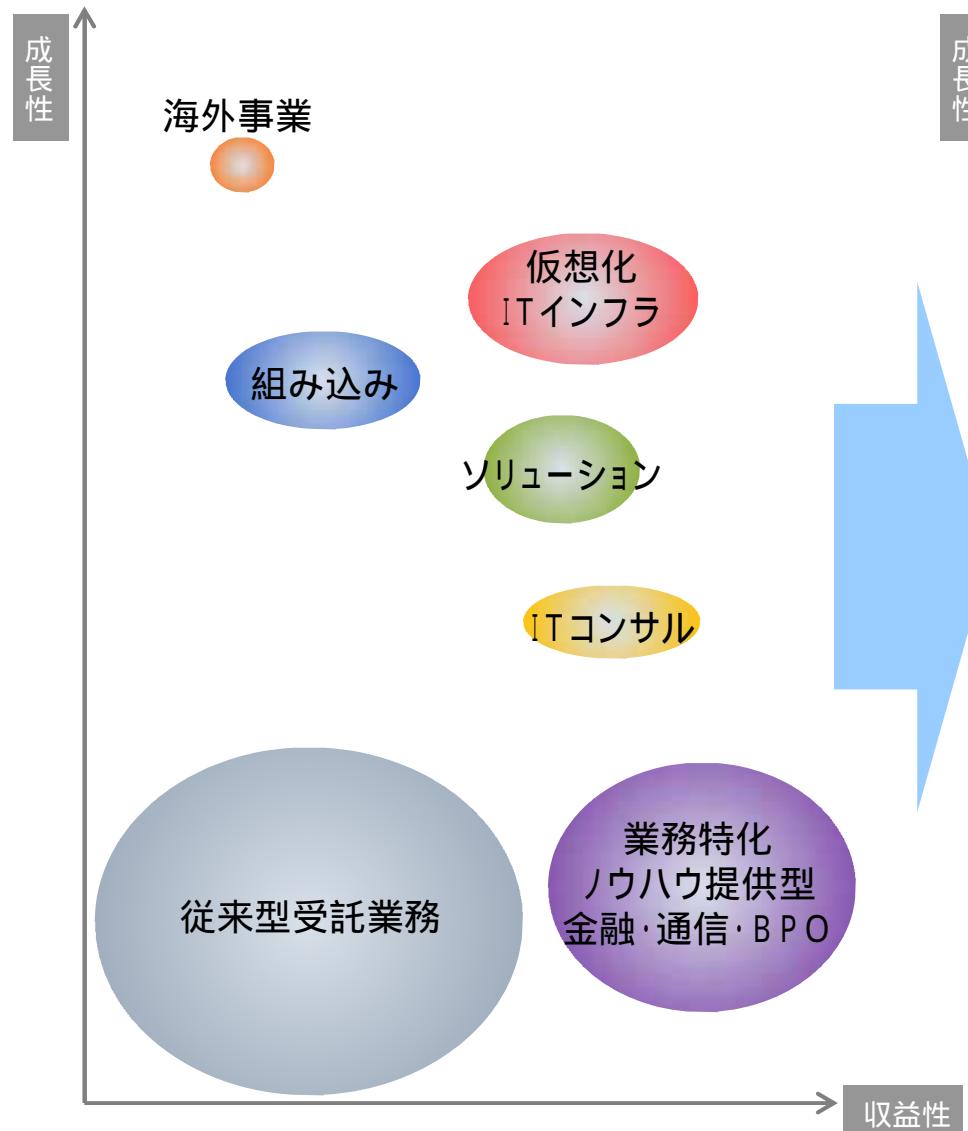
ソリューション/サービス提供型ビジネスとアウトソース型ビジネスに
ビジネスモデルを変革し、新規事業を創出する。



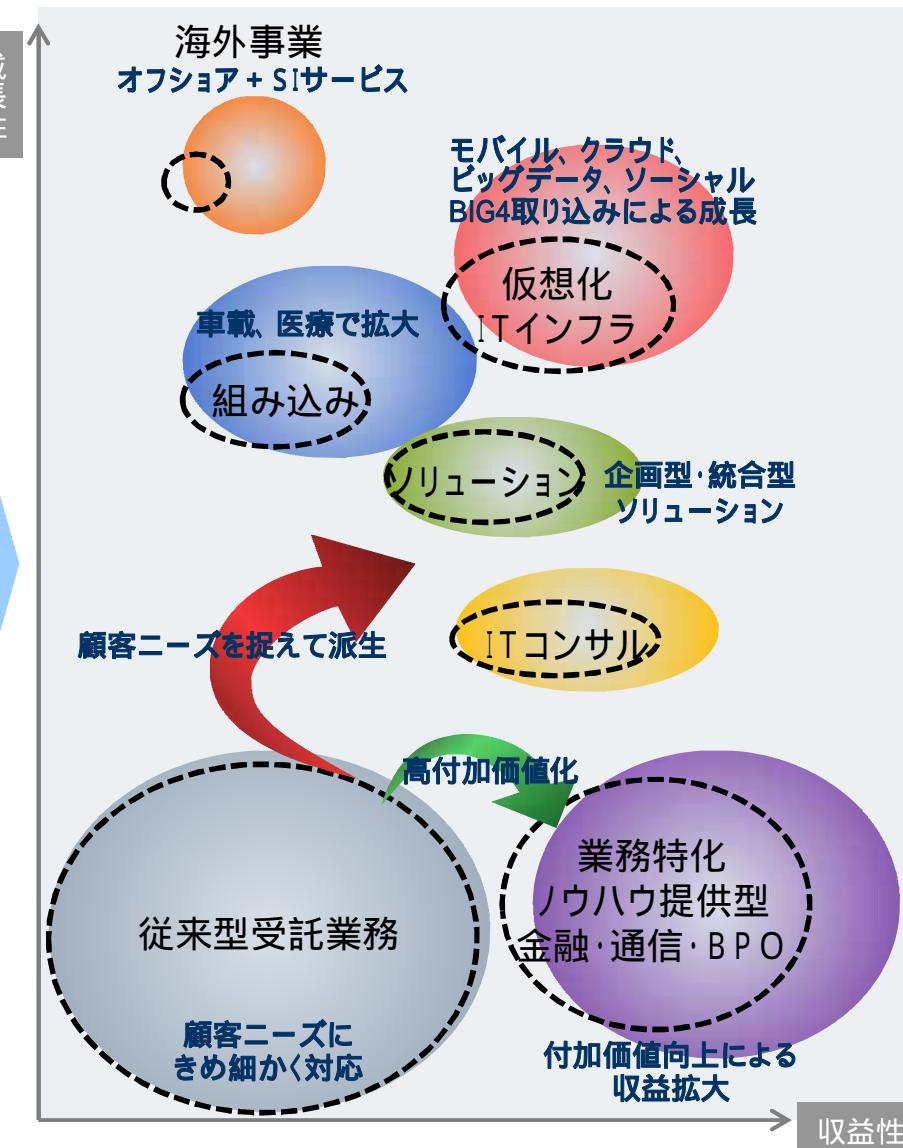
新中計 ソリューション型/アウトソース型ビジネスの売上高比率3割達成

当社グループの目指すビジネスポートフォリオ

2013年3月期(41期)



2016年3月期(44期)



5 - 経営基盤の拡充

50期1000億達成に向けた人材育成・活用をさらに強化する。
事業環境変化に即応していくため、機動的な組織へ変革する。

人材活用・育成

人材活用・ローテーション

- ・優秀な人材を重要案件に配置
- ・育成計画に沿った戦略的ローテーション

研修・キャリアパス

- ・変革を支える研修の充実
- ・プロフェッショナル認定制度の継続

議論・交流

- ・社長塾、営業合宿の実施
- ・ダイバーシティ、技術&有識者WG
- ・他社人材との交流

意識改革

- ・社員自主性を求める意識改革
(DTS WAYのWG)継続
- ・社内SNSによるコミュニケーション活性化

組織変革

事業部制/担当制への抜本的な組織改革を実施

- ・組織特性や役割に応じた編成(組織/機能の柔軟化)
- ・人員の流動/連携の促進
- ・スタッフ部門の生産性向上/スリム化

5-⑤ グループ総合力の結集

DTSグループの総合力を結集し、グループで全体最適を図り、
グループシナジーの最大化を目指す



6. 新中期経営計画目標

付加価値生産性(一人あたり係数、営業利益率)の向上をめざし、以下の目標を設定する。

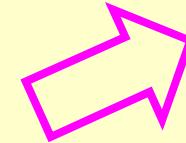
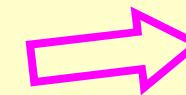
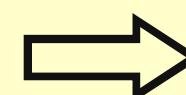
	41期
売上高	610億円
営業利益	40億円
営業利益率	6.6%



44期
720億円
56億円
7.8%

. 平成26年3月期 見通し

事業環境の見通し

業種	トピックス			市場動向
金融	銀行	大型更改案件は開発本格化へ。開発中の決済系・情報系は継続。海外案件は設計に着手		
	信託・生損保	信託の統合案件や基幹システム再構築、生保の更改案件はサービス開始に向けた対応を継続		
	証券	AMO案件やインフラ構築を中心に安定受注を見込む		
運輸 通信	通信	モバイル系やIDC事業者向けのクラウド基盤等が引き続き需要旺盛		
	運輸	空運の大型更改案件は維持フェーズに移行するも、新たな顧客での開発案件が拡大		
サービス		底堅いIT投資需要により堅調に推移		
製造/公共/卸小売ほか		自動車や医療分野の組込みで引き合い増。公共は大型案件、卸小売業は積極投資に期待		

単体・連結 通期業績予想(平成26年3月期)

(単位：百万円、%)	単体			連結		
	金額	売上 比率	前年 同期比	金額	売上 比率	前年 同期比
売上高	38,000	-	103.8% +1,392	62,000	-	101.6% +960
売上総利益	6,550	17.2%	107.3% +445	10,200	16.5%	109.0% +840
販管費	3,400	8.9%	114.2% +423	6,100	9.8%	113.9% +743
営業利益	3,150	8.3%	100.7% +22	4,100	6.6%	102.4% +97
経常利益	3,300	8.7%	100.6% +18	4,150	6.7%	101.3% +55
当期純利益	2,050	5.4%	100.5% +9	2,200	3.5%	101.0% +23

単体・連結 上期業績予想(平成26年3月期)

(単位：百万円、%)	単体			連結		
	金額	売上比率	前年同期比	金額	売上比率	前年同期比
売上高	17,850	-	103.0% + 526	30,200	-	101.5% +457
売上総利益	2,900	16.2%	103.9% +108	4,750	15.7%	109.0% +391
販管費	1,700	9.5%	118.1% +261	3,050	10.1%	113.5% +362
営業利益	1,200	6.7%	88.8% -152	1,700	5.6%	101.8% +29
経常利益	1,300	7.3%	88.6% -167	1,750	5.8%	101.7% +30
当期純利益	800	4.5%	88.3% -106	920	3.0%	101.7% +16

参考)グループ各社 通期計画(平成26年3月期)

(単位: 百万円、%)		売上高		営業利益	
社名	金額	前期比	金額	営業 利益率	前期比
データリンクス	7,980	103.3%	240	3.0%	105.3%
デジタルテクノロジー	6,200	89.2%	105	1.7%	190.3%
FAITEC	5,600	95.9%	535	9.6%	146.3%
日本SE	4,300	107.5%	290	6.7%	104.8%
九州DTS	1,390	110.2%	77	5.5%	124.9%
総合システムサービス	1,200	100.0%	79	6.6%	78.3%
MIRUCA	365	103.3%	3	1.0%	[+ 10]
DTS上海 当期より連結予定	364	-	38	10.6%	-

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[]は、当期金額 - 前期金額

配当

平成24年8月25日に創立40周年を迎え、
 日頃のご支援に感謝し、記念配当5円を実施

	第2 四半期末	期末	年間	配当性向 (連結)
平成25年 3月期	15円	(予)20円 うち記念配5円	(予)35円 うち記念配5円	(予)38.2%
平成26年 3月期	(予)15円	(予)15円	(予)30円	(予)32.4%

平成25年3月期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました



株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>